

資料9 公営企業の状況

➤ 公営企業は、令和2年度、全ての事業において純利益を計上しており、資金不足も発生していない。

(単位 百万円)

事業	R2				R1			
	総収益	総費用	純利益	資金剰余	総収益	総費用	総利益	資金剰余
病院事業	114,528	112,036	2,491	6,293	109,594	110,188	▲593	4,637
電気事業	7,108	4,866	2,243	17,130	6,514	5,306	1,208	14,801
工業用水道事業	800	740	60	699	870	805	64	610
流域下水道事業	9,447	8,930	516	956	R2年度から公営企業会計			

病院事業

20病院、6地域診療センターからなり、各二次保健医療圏における基幹病院としての役割や、交通事情や医療資源に恵まれない地域における、地域の初期医療等の役割を担っています。

電気事業

水力、風力、太陽光などの再生可能エネルギーを利用した発電所を20か所運転しています。

工業用水道事業

北上工業団地、岩手中部工業団地及び北上南部工業団地へ工業用水を供給しています。

流域下水道事業

北上川上流流域及び磐井川流域の10市町を処理区域とし、関連公共下水道から流入した汚水を処理しています。

令和2年度岩手県立病院等事業会計決算概要

岩手県医療局

○ 令和2年度の県立病院等事業会計決算は、**総収益 114,528 百万円余**に対し、**総費用 112,036 百万円余**で、**差引 2,491 百万円余の純利益**となった。

なお、**経常損益は 2,625 百万円余の黒字**となった。

○ **累積欠損金は 45,937 百万円余**となった。(令和元年度末 48,428 百万円余)

○ 病院別の純損益では、**20 病院中、9 病院が黒字、11 病院が赤字**となった。(令和元年度：黒字 5 病院、赤字 15 病院)

なお、経常損益も同様に、**9 病院が黒字、11 病院が赤字**。(令和元年度：黒字 5 病院、赤字 15 病院)

単位：患者数(人)、決算額(千円)

		令和2年度 A	令和元年度 B	増減 C=A-B	増減率 C/B
患者数	入院患者数	1,089,600	1,194,902	△ 105,302	△ 8.8%
	外来患者数	1,666,259	1,816,735	△ 150,476	△ 8.3%
決算	収益 a	114,528,002	109,594,497	4,933,505	4.5%
	うち入院収益	56,084,216	58,293,931	△ 2,209,715	△ 3.8%
	うち外来収益	27,512,624	28,273,413	△ 760,789	△ 2.7%
	うち医業外収益	23,523,811	17,036,435	6,487,376	38.1%
	うち特別利益 d	1,688,622	0	1,688,622	皆増
	費用 b	112,036,751	110,188,260	1,848,491	1.7%
	うち特別損失 e	1,822,558	914,076	908,482	99.4%
	経常損益 (a-d)-(b-e)	2,625,187	320,313	2,304,874	719.6%
純損益 c=a-b	2,491,251	△ 593,763	3,085,014	519.6%	

1 患者数の状況

(1) 入院患者

新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床を確保するための入院制限等に伴う新患者数の減少により **105,302 人 (8.8%) の減少**

(2) 外来患者

新型コロナウイルス感染症による自主的な受診抑制等に伴う新患者数の減少により **150,476 人 (8.3%) の減少**

2 収益の状況

入院・外来ともに患者数が減少したものの、患者一人一日当たり収益の増加及び新型コロナウイルス感染症対応に係る補助金等の増加により、令和元年度と比較し **4,933 百万円余 (4.5%) の増加**

(1) 入院収益

診療報酬改定等により患者一人一日当たり収益が増加 (5.5%) したものの、患者数の減少により **2,209 百万円余 (3.8%) の減少**

(2) 外来収益

高額薬剤の使用の増加等により患者一人一日当たり収益が増加 (6.1%) したものの、患者数の減少により **760 百万円余 (2.7%) の減少**

(3) 医業外収益

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策や受入れ病床の確保に係る補助金等の増加により **6,487 百万円余 (38.1%) の増加**

(4) 特別利益

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の給付に伴い **1,688 百万円余を計上**

3 費用の状況

材料費及び光熱水費等が減少したものの、給与費、減価償却費及び消費税負担の増加等により、令和元年度と比較して **1,848 百万円余 (1.7%) の増加**

(1) 医業費用

患者数の減少により材料費が **549 百万円余**、電力単価の減少により光熱水費が **352 百万円余**それぞれ減少したものの、職員の増員等により給与費が **753 百万円余**、建物設備改修等により減価償却費が **774 百万円余**それぞれ増加し、医業費用で **556 百万円余の増加**

(2) 医業外費用

企業債利息が減少したものの、消費税率の引上げに伴う消費税負担の増加等により **383 百万円余の増加**

(3) 特別損失

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金の給付及び旧病院用地売却損により **1,822 百万円余を計上**

令和2年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

岩手県企業局

- 工業用水供給量は、実使用水量が増加したものの、基本使用水量は減少し、**料金収入は、前年度比6.1%減の7億4千6百万円余**となった。
- **経常収益**は、料金収入が減となったことにより**前年度比9.0%減の7億9千1百万円余**となり、**経常費用**は、修繕費の減等により**前年度比8.0%減の7億4千万円余**となった。
- この結果、**経常利益**は、**前年度比21.5%減の5千万円余**となり、**純利益**は、特別利益の増により**前年度比7.1%減の5千9百万円余**となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B)/B
経常収益		791,018	869,626	△78,608	△9.0%
経常費用		740,392	805,141	△64,749	△8.0%
経常利益		50,626	64,485	△13,859	△21.5%
特別利益		※ 9,309	0	9,309	皆増
特別損失		0	0	0	—
純利益		59,935	64,485	△4,550	△7.1%

※ 令和2年度は、退職給付引当金残高を取崩したことに伴い、特別利益（退職給付引当金戻入）を計上

1 工業用水の供給状況

実使用水量は増となったが、ユーザー企業の使用廃止等に伴い基本使用水量は減となった。

(単位：千m³/年)

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B)/B	
基本使用水量		12,230	13,244	△1,014	△7.7%	ユーザー企業の使用廃止等に伴う基本使用水量の減
実使用水量		7,316	7,293	23	0.3%	使用実績による実使用水量の増
うち 超過水量		55	43	12	27.9%	

※ 供給先：北上工業団地、岩手中部工業団地に立地している19事業所

※ 増減率は、原数値で計算しているため、表中の数値による計算値とは必ずしも一致しない。

<1m³当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

税抜

料金種別	工業用水料金の額	超過料金の額※
基本使用水量 (基本料金)	42円	35円
使用水量 (使用料金)	3円	3円
超過水量 (超過料金)	90円	—

※超過水使用の場合は、工業用水料金に加算

2 経常収益の状況

基本使用水量の減により料金収入が減(△48,498千円)となったことなどにより、前年度比78,608千円(9.0%)減の791,018千円となった。

3 経常費用の状況

修繕費や人件費の減等により、前年度比64,749千円(8.0%)減の740,392千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比13,859千円(21.5%)減の50,626千円となり、純利益は、前年度比4,550千円(7.1%)減の59,935千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	4,000	50,626	46,626	料金収入の減により経常利益は減となったが、修繕費や人件費等が減となり、経常収支比率の目標を達成。
経常収支比率	100.3%	106.9%	6.6ポイント	

令和2年度岩手県流域下水道事業会計決算概要

岩手県県土整備部

- 本県の流域下水道事業は、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、公営企業会計へ移行。
- 令和2年度は、北上川上流流域及び磐井川流域の10市町を処理区域とし、関連公共下水道から流入した7,228万m³の汚水を処理。これに伴う関連市町からの負担金収入は41億2千4百万円余となった。
- 経常収益は、関連市町からの負担金のほか長期前受金戻入など94億3千2百万円余、経常費用は、処理場費や減価償却費など88億7千4百万円余となった。
- この結果、経常利益は5億5千8百万円余となり、これに特別損益を加減した純利益は5億1千6百万円余となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B) ※	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		9,432,886	—	—	—
経常費用		8,874,245	—	—	—
経常利益		558,641	—	—	—
特別利益		13,708	—	—	—
特別損失		56,151	—	—	—
純利益		516,198	—	—	—

※ 令和元年度は公営企業会計未適用のため該当数値なし

1 汚水処理状況

令和元年度と比較し、流入水量は9.9%の増加、負担金収入は13.0%の増加となった。(単位：千m³/年、千円) 税抜

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		処理区域
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
総処理水量		72,280	65,791	6,489	9.9%	
うち北上川上流流域		68,825	62,456	6,369	10.2%	盛岡市、滝沢市、雫石町、矢巾町、花巻市、北上市、奥州市及び金ケ崎町
うち磐井川流域		3,455	3,335	120	3.6%	一関市及び平泉町
市町負担金収入		4,124,937	3,651,556	473,381	13.0%	

2 経常収益の状況

維持管理に係る関連市町からの負担金4,124,937千円のほか、他会計補助金923,281千円、長期前受金戻入4,209,093千円など、合計9,432,886千円となった。

3 経常費用の状況

管渠費、ポンプ場費及び処理場費等の維持管理費3,093,889千円のほか、減価償却費5,341,166千円、建設改良費の財源に充てるための企業債に係る支払利息239,548千円など、合計8,874,245千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は558,641千円となった。

特別利益13,708千円、特別損失56,151千円は、いずれも地方公営企業法適用に伴う過年度損益の調整項目であり、これらを加減した最終的な当期純利益は516,198千円となった。

なお、経常利益の当初予定に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	当初予定	実績	増減	備考
経常利益	125,356	558,641	433,285	契約実績等による委託費の減などにより、当初予定と比較し経常利益が増加したものの。
経常収支比率	101.3%	106.2%	4.9%	

令和2年度岩手県電気事業会計決算概要

岩手県企業局

- 供給電力量は、水力発電で出水率の増等により、前年度比22.9%増の6億7,355万kWh余となり、電力料収入は、前年度比9.9%増の68億1千3百万円余となった。
- 経常収益は、この収入増等により前年度比9.1%増の71億8百万円余となり、経常費用は、委託費の減等により前年度比6.9%減の48億6千5百万円余となった。
- この結果、経常利益は、前年度比73.9%増の22億4千2百万円余となり、純利益は、特別損失の減により前年度比85.6%増の22億4千2百万円余となり、平成27年度から6年連続10億円以上となった。

令和2年度損益

(単位：千円) 税抜

科目	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較	
				増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益		7,108,153	6,514,410	593,743	9.1%
経常費用		4,865,610	5,224,694	△359,084	△6.9%
経常利益		2,242,543	1,289,716	952,827	73.9%
特別利益		0	0	0	—
特別損失		0	※ 81,320	△81,320	皆減
純利益		2,242,543	1,208,396	1,034,147	85.6%

※ 令和元年度は、北本内地点開発中止に伴い、特別損失（建設準備勘定の精算）を計上

1 電力の供給状況

風力発電は高森高原風力発電所の平均風速の低下等により減少したものの、水力発電で出水率の増により増加し、供給電力量は増となった。

(単位：千kWh)

区分	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	比較		備考
				増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B	
水力 (16発電所)		614,070	486,256	127,814	26.3%	出水率の増（下半期の出水率が高かったことによる） (R元：88.8%→R2：102.7%)
風力 (2発電所)		58,059	60,245	△2,186	△3.6%	高森高原風力発電所の平均風速の低下 (R元：6.7m/秒→R2：6.6m/秒)
太陽光		1,426	1,711	△285	△16.7%	12月から2月の太陽光パネルへの着雪が多かったこと
合計		673,555	548,212	125,343	22.9%	

2 経常収益の状況

風力発電は、高森高原風力発電所の平均風速の低下等により電力料収入が減（△47,016千円）となったが、水力発電は、出水率の増等により電力料収入が増（670,337千円）となったことなどから、前年度比593,743千円（9.1%）増の7,108,153千円となった。

3 経常費用の状況

水力発電設備の委託費の減等により、前年度比359,084千円（6.9%）減の4,865,610千円となった。

4 経常利益、純利益の状況

以上の結果、経常利益は、前年度比952,827千円（73.9%）増の2,242,543千円、純利益は、前年度比1,034,147千円（85.6%）増の2,242,543千円となった。

なお、経常利益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

(単位：千円) 税抜

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常利益	1,226,000	2,242,543	1,016,543	電力料収入の増により、経常利益は増
経常収支比率	121.9%	146.1%	24.2ポイント	